

みんなの力で地域を元気に！ “地域づくり” してみませんか？



地域づくりや人づくりに向けた今後の社会教育活動のあり方について考えるため、昨年11月に鳥取県社会教育振興大会が開催されました。家庭や地域の教育力向上、公民館活動の充実などについて、県内全市町村が特色ある取組の事例発表を行いました。今回はこの中から、元気な地域づくりに取り組む公民館や地域の活動を紹介します。

住民が文化とふれあえる環境づくりに励む ふなおか夢音楽祭 を開催！

船岡地区公民館（八頭町）

船岡地区公民館は「ふれあい、学び、支え合う地域づくり」をスローガンに創造的で活力に満ちた魅力ある地域づくりに励んでいます。



【実行委員会】
公民館関係者、ボランティア団体、婦人会、青年団、中高生ボランティア、学校職員

その一つとして、住民が芸術・文化にふれる機会をつくり、自ら進んで文化活動を行う意欲を持っていただくこと、この8年間毎年、地域の団体が連携して、音楽祭を開催しています。

この手作りの音楽祭では、幅広いジャンルの地域の音楽愛好家が日々の練習の成果を発表します。その音楽は多くの方を魅了し、地域の音楽や文化への関心を高めています。

80歳のピアニスト

年々上達する演奏が聞けるのを楽しみにしています。

気持ちよく日頃の成果を披露することができました。

ミュージックベル

にぎわう住民たち

小・中学校PTAで培った経験を地域の力に 次世代地域リーダー養成講座 「おがもタウンカレッジ」を開設！

小鴨公民館（倉吉市）



登山へGO!

小鴨地区公民館では40代前後の世代が、PTA活動の終了とともに地域活動から離れてしまう傾向があることから、PTA活動で培った人のつながりと経験を生かして次の地域リーダーとして活躍していただくこと、次世代地域リーダー養成講座「おがもタウンカレッジ」を開設しました。

参加者相互の交流を図りながら、自主的に学習プログラムを企画し、地域活動への参画や、課題の発掘など、地域リーダーとしての力を付けています。

住みたい・住みよい 誇れる
地域づくりにおけるのだからものさかし



講話&写経体験



ジャーナリズム講座



小鴨名物の開発 B級グルメ



茶道

2012年(4年目)
取組の内容

「おもてなしのこころを学ぶ
「オープンカフェ」
～薔薇の庭にて～

「地域再発見
「パワースポットを訪ねて」

「ワタシも大事・みんなも大事
認知症サポーターって何？
(人権学習)

「ワーク・ライフ・バランス

主婦の視点で公民館の利用者数UP!

住民が運営する公民館

NPO法人まちづくりネット（北栄町）



北栄町では、中央公民館大栄分館の管理運営を町内の女性活動団体が立ち上げた『NPO法人まちづくりネット』に委託しています。

NPO法人まちづくりネット

町女性団体連絡協議会役員と趣旨に賛同する町内の主婦ら10人で構成。

住民サービスの充実を目指して、主婦たちの視点で行う取組は好評で、月平均利用者も09年度は08年度と比べ約1,000人増加し、公民館が地域住民の交流の場として存在感を高めています。

「行って楽しい、元気になる公民館」を目指して!



子ども公民館まつり

たくさんの親子で大賑わい!



消費者講座

寸劇を入れて楽しく学びました。



男性料理教室

巻き寿司に挑戦!



ロビーには、一年を通して町民の作品を展示しています。

大山参りの道を住民が力を合わせて整備

奥大山古道を復活!

奥大山古道保存協議会（江府町）



江府町では、地域住民が奥大山古道保存協議会を設立し、長年歩かれることのなかった江府町内の大山の道「奥大山古道」を整備しました。

奥大山古道とは?

奥大山古道は古くから信仰の道として、人や牛馬が行き交うにぎわった道でしたが、昭和37年に大山環状道路が開通すると、自動車の往来が主流となり、歴史のある道は自然の中に埋もれてしまっていました。

江府町では、平成20年の「新修江府町史」の発見をきっかけに、保存協議会を立ち上げ、町民や大学生が道を整備し始めました。その後、町外の方も加わり、奥大山古道は当時の面影を復活させました。



古道の整備の様子(平成21年11月)

鍵掛地藏遷座記念ウォーク



昼休憩には、だんご汁の配布や青空市を楽しみました。

古道を歩く人々に、自然を大切にすると、かつて信仰のために古道を歩いた人の心を伝えます。

これから...

古道を小中学生、女性会等のウォークに活用して地域づくりの推進を図る予定です。



地域づくりに参加してみませんか?

今回、県内で行われている取組の一部をご紹介しましたが、各地域でも様々な魅力ある取組が行われています。配布される公民館だよりなどで情報を得て、興味を持った取組に参加し、地域を元気にしていきませんか?

鳥取県社会教育振興大会で紹介された県内全市町村の取組は家庭・地域教育課のホームページでも紹介されています。

鳥取県社会教育振興大会 検索

お問い合わせ先

〒680-8570

鳥取市東町 1-271

鳥取県教育委員会事務局

家庭・地域教育課

TEL (0857)26-7520

町の花にナノハナが選ばれたことに感銘。あたたかくて、気持ち豊かにしてくれる花だと思う。冬を乗り越えて見るからだろうか。



表紙画ればと
ナノハナ

(伯耆町)

- 1 特集
みんなの力で地域を元気に!
◇地域づくり◇してみませんか?
- 3 とっとり県民カレッジ
・入学のご案内
・収録ビデオ・DVD一覧
- 8 とっとり県民カレッジ連携
生涯学習講座情報(3・4月)
- 24 大山青年の家
船上山少年自然の家
- 25 県民ふれあい会館からのお知らせ
・「第5回まなびふれあい交流会開催」
- 26 「学友会まつり」が開催されました!
シリーズ元気な公民館
・岩美町大岩地区公民館
- 27 鳥取県立博物館 企画展のご案内
「柳宗悦展―暮らしへの眼差し―」



鳥取県教育委員会発行
2011.3 弥生

Vol.
139

とっとり県民カレッジで生涯学習をはじめませんか？

とっとり県民カレッジは、さまざまな機関と連携し、県民の皆様の生涯学習を支援するしくみです。いつでも、どなたでも入学ができます



Q. どんな講座があるの？



とっとり
県民カレッジ

(入学手続きは一回のみ)

主催講座

「未来をひらく鳥取学」の講演会

「放送利用」での在宅学習

連携講座

県、市町村、大学・短大、
公民館などが実施する講座

Q. 「未来をひらく鳥取学」はどんな講座？

ふるさと鳥取県を見直したり、地域社会が直面する現代的な課題について学ぶ県民のための講座です。県内東中西部で1年に計10回講演会が開催されます。
(毎年の申込みと資料代が必要です。)



Q. 「放送利用」はどんな講座？

自宅都合のよい時にテレビやビデオなどを見て学ぶ講座です。

① テレビの視聴

番組名	放送局	放送日時
とっとりTRY!	日本海テレビ	毎週日曜日 午前10:25～10:40

(放送時間帯は変更になることがあります。)



② ビデオ・DVDの視聴

貸出・視聴可能な講座については4～7ページの一覧をご覧ください。

	ビデオ配置場所	住所	電話番号
東 部	とっとり県民カレッジ本部 (県庁第2庁舎6階)	鳥取市東町	0857-26-7944
	県生涯学習センター (県民ふれあい会館)	鳥取市扇町	0857-21-2331
	県立図書館 図書係	鳥取市尚徳町	0857-26-8155
中 部	中部教育局 (中部総合事務所内)	倉吉市東蔵城町	0858-23-3253
西 部	西部教育局 (西部総合事務所内)	米子市鞆町	0859-31-9774

(事前に電話でビデオ・DVDの有無を確認してください。)

③ トリピー放送局の視聴

ビデオ・DVDの一部をインターネット(トリピー放送局)で視聴することができます。

「とっとり県民学習ネット」のホームページから「トリピー放送局」のバナーをクリックしてください。

とっとり県民学習ネット <http://manabi.pref.tottori.lg.jp/>



Q. 連携講座を探すには？

2ヶ月ごとに発行する生涯学習情報誌「生涯学習とっとり」(本誌)に掲載するほか、インターネット「とっとり県民学習ネット」では最新の講座情報をご覧になれます。なお、連携講座の詳細については各機関へお問い合わせください。



詳しくは知りたい方はこちらへお問い合わせください。

とっとり県民カレッジ本部 鳥取県教育委員会事務局 家庭・地域教育課内 (TEL0857-26-7944)

■「未来をひらく鳥取学」収録ビデオ・DVD一覧

とっとり県民カレッジ主催講座「未来をひらく鳥取学」の講演を収録した映像です。
 県民カレッジ本部では平成19～23年度分、県民ふれあい会館、県立図書館、中部教育局
 では平成21～23年度分、西部教育局では平成22～23年度分のビデオ・DVDをとっとり県民カ
 レッジ受講生に無料貸出しています。



トリピー放送局配信番組マーク

科目：健康・生活

タイトル	講師名	ビデオ番号 (年度-回数-会場)
上手な薬の飲み方 ～知っておきたい薬のあれこれ～	長谷川純一（鳥取大学医学部教授）	19-1-A
私とボブスレー	小林 竜一（2006トリノオリンピックボブスレー日本代表）	19-1-B
料理と人生	道場六三郎（「銀座 ろくさん亭」オーナー）	20-5
現代の食環境と健康 ～食の魅力と課題～	松島 文子（鳥取短期大学教授）	21-1-B
 野菜がおいしい 健康的食生活のすすめ	カノウ ユミコ（野菜料理研究家）	21-3-C
 元気で長生きのためのからだづくり	加藤 敏明（鳥取大学医学部准教授）	22-2-A
 目指せ長寿世界一!! ～鳥取の「食」がまちと人を元気にする～	河崎 妙子（フード・コーディネーター）	23-1-A
 認知症の正しい理解と効果的な予防	浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座・教授）	23-1-C

科目：教育・福祉

タイトル	講師名	ビデオ番号
鳥取県の目指す教育	中永 廣樹（鳥取県教育委員会教育長）	20-2-A
なるほどなっとく介護 ～みんなで老いと認知症を支えよう～	三好 春樹（生活とリハビリ研究所 代表）	20-2-B
 夢の力・再発見 ～アトリエの窓から	たなか かおる（童画家・エッセイスト）	21-1-A
本当の幸せとは…	Paix ² （ぺぺ）（歌手）	21-4-B
 鳥取の教育 -教育郷土史-	若原 道昭（龍谷大学名誉教授）	23-4-C

科目：人 権

タイトル	講師名	ビデオ番号
啓発映画の現場から 映画づくり人づくり	丘乃 れい（シナリオ作家）	19-2-A
地域で豊かに生きられるようになった、こころ病んで来た人たち	古川奈都子（柊の会代表）	19-2-B
防災・減災・復興一男女共同参画の視点で考える	相川 康子（神戸新聞論説委員）	19-2-C

収録ビデオ・DVD一覧

科目：産 業

タイトル	講師名	ビデオ番号
暮らしにやさしい“まち(地域)なおし”をコミュニティビジネスで	吉野 立 (地域交流センター・田園所長)	19-3-A
きのご食と健康	時本 景亮 (日本きのごセンター・菌じん研究所副所長)	19-3-B
参加体験学習の時代へ	福井 昌平 (株式会社コミュニケーション・デザインング研究所 代表取締役社長)	19-3-C
石油ピークとオフショア風力発電	林 農 (鳥取大学名誉教授)	20-6-A
ネットワークで農業を支える	高橋 和子 (株式会社東研 インターネット通販 有機野菜のぶどうの木 店長)	20-6-B
地域との共存に挑む コンビニエンスストア ローソン	和田 祐一 (株式会社ローソン中四国支社商品部長)	20-6-C
 鳥取県からの挑戦 ～元気な産業 しっかり雇用～	平井 伸治 (とっとり県民カレッジ学長・鳥取県知事)	21-1-C
 魅力ある農林水産業とは	鹿田 道夫 (鳥取県農林水産部長)	21-4-A
 “運明の船”と私 ～運と縁は隣り合わせ～	南部真知子 (㈱コンチェルト社長)	22-1-A
 ガイナーレ鳥取の軌跡	塚野 真樹 (㈱SC鳥取代表取締役)	22-1-C

科目：国際化

タイトル	講師名	ビデオ番号
ブラジル・第二アリアンサ鳥取村での生活	谷口 太郎 (琴浦町立浦安小学校教諭)	19-6-A
多文化共生とアイデンティティ ～ブラジル移住者の足跡・生きざまから～	榮田 剛 (鳥取県中南米移住史編纂委員)	19-6-B
私が歩いた難民キャンプ ～故郷を求めて～	河上 友香 (難民支援団体「ピースバード」代表)	20-1-A
鳥取県が目指すこれからの国際化とは	平井 伸治 (県知事・とっとり県民カレッジ学長)	20-1-B
NGOの草の根国際協力 ～中国・黄土高原で木を植えつけて～	高見 邦雄 (認定NPO法人緑の地球ネットワーク事務局長)	20-1-C
認識台湾	川口 斐斐 (鳥取大学中国語講師・日華ふれんず代表)	22-2-B
 地球の裏側から ～パリの日本人芸術家の反省と観察～	足羽 俊夫 (画家・日南町美術館名誉館長)	23-4-A

科目：自然・環境

タイトル	講師名	ビデオ番号
21世紀 地震と暮らし	西田 良平（鳥取大学工学部教授）	19-4-A
地球時代の環境問題	石田耕太郎（鳥取県生活環境部長）	19-4-B
未来からの借り物 ～ドイツで気づいた鳥取県の環境問題～	山本ルリコ（鳥取県環境教育・学習アドバイザー）	19-4-C
鳥取の食卓から地球を考える	岸本 康子（とっとり環境ネットワーク 環境教育グループ）	20-3-A
「動物と人間が共存する地球環境」 “今だから動物と人間の共存が重要である”	山根 義久（東京農工大学獣医学科教授）	20-3-B
 エネルギーと環境問題	中国電力(株)鳥取支社	22-4-B
 地球温暖化対策の枠組みと国際交渉	福井宏一郎（日本カーボンファイナンス(株)社長）	22-4-C
 第4の産業革命と暮らし	藤原 洋（㈱ナノオプトクス・エナジー代表取締役社長）	23-1-B

科目：歴史・文化

タイトル	講師名	ビデオ番号
念ずれば花ひらく	鈴木 伸子（編集プロデューサー）	19-7-A
鳥取の民俗 再発見	新鳥取県史シンポジウム	19-7-B
演劇の魅力、その豊かさ	中島 諒人（演出家・鳥の劇場主宰）	19-7-C
美術館から見た文化力競争時代	林田 英樹（独立行政法人国立美術館 国立新美術館長）	20-4-A
「世界遺産・石見銀山の奥深さ」 ～世界遺産としての価値、登録までの道のり～	椿 真治（鳥根県教育庁文化財課世界遺産室）	20-4-B
新鳥取県史シンポジウム 「歴史の語りと聞き取り オーラルヒストリーの可能性」	中村 政則（一橋大学名誉教授）	20-4-C
 “どちらへ？ちょっとオペラへ” ～歌劇派宣言！～	谷口 伸（声楽家）	21-3-A
 前田寛治の歩んだ道	前田 明範（倉吉博物館館長）	21-4-C
 アーティストリゾート鳥取県 ～鳥取から発信する文化～	平井 伸治（とっとり県民カレッジ学長・鳥取県知事）	22-1-B
白磁と私	前田 昭博（陶芸家）	22-4-A
 人に歴史あり、歴史に人あり ～小説『TATARA』を書いて思うこと	松本 薫（作家）	23-2-B